

数A(直線と平面②)

⑩ 凸多面体の①____の数を V 、②____の数を E 、③____の数を F とすると、 $V-E+F=2$ が成り立つ。これを④____定理という。

⑪ 空間内の直線 l, m, n や、平面 P, Q, R について、次の記述が正しいときは○、正しくないときは×で答えよう。

⑤ $l \perp P, m \perp P$ のとき、 $l \perp m$ である。

⑥ $l // P, m // P$ のとき、 $l // m$ である。

⑦ $P // l, Q // l$ のとき、 $P // Q$ である。

⑧ $P \perp Q, Q // R$ のとき、 $P \perp R$ である。

⑨ $l \perp m, m \perp n$ のとき、 $l // n$ である。

